

平成26年度 学校評価の結果について

12月に「児童アンケート」「保護者アンケート」、1月に教職員による「自己評価」を実施しました。これらの結果をもとに「年度末反省会議」を開催し本年度の成果と課題及び次年度の改善策について話し合いを行いましたのでご報告いたします。併せて、1月に行った「体育の学習についてのアンケート」の結果についてもお知らせいたします。

この結果は、「学校関係者評価委員会」に報告し評価をいただいておりますので、あわせて記述しております。

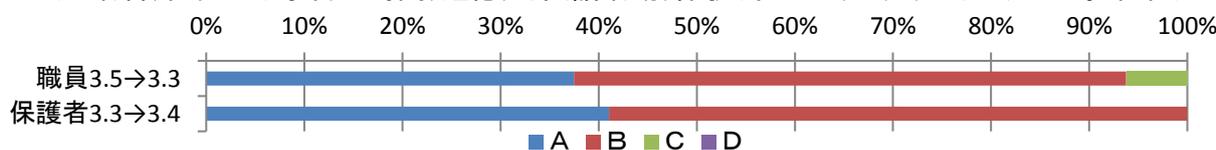
この評価結果を、来年度の教育活動に生かしていきます。ご協力ありがとうございました。
(保護者アンケート回収率=72.8%) ※平均点はA=4点~D=1点として算出しています。

I 学校の経営にかかわって

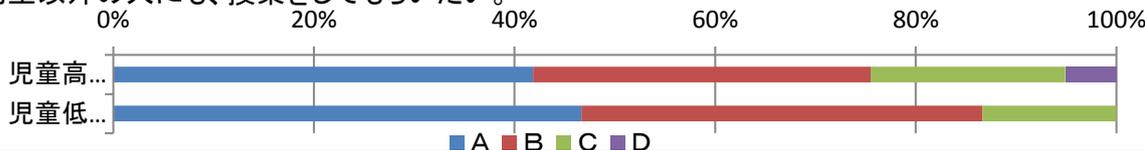
方針1 地域の力を学校に(地域力の活用)

1 地域人材や地域の教育資源の活用に努め、地域を生かした授業づくりができたか。

(生活科、総合的な学習の時間、道徳、外国語活動、体験ワークショップ、遠足、アウトリーチ事業 他)



※ 先生以外の人にも、授業をしてもらいたい。

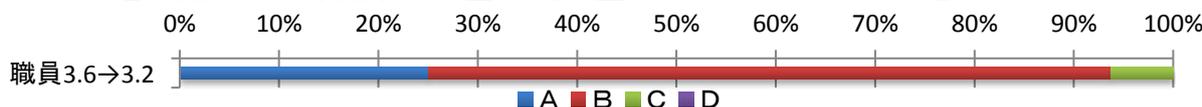


<来年度に向けて>

職員、児童（特に低学年）の評価は下がったが、保護者の評価や学校評議員の意見から考えると、活動自体は必要であり評価が高い。児童の意欲や学習効果を高めるために、マンネリ化にならないように計画を立てながら進める。

2 子どもの安全を確保するため、登下校時の安全確保と校区連等関係機関との連携に努めたか。

(校区連、交通指導員、交通安全教室・防犯教室、セフティーネットワーク 他)

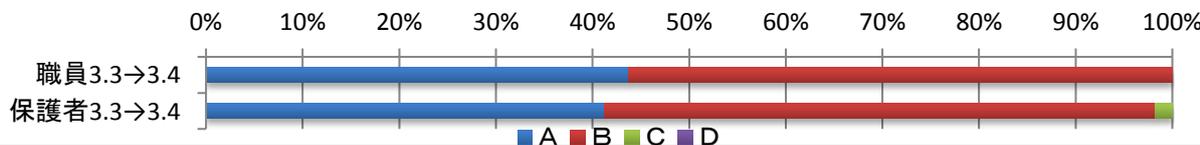


<来年度に向けて>

地域のボランティアの方々に支えられ、子どもたちの安全を確保することができている。今後、学校周辺の道路状況が大きく変わることが予想されるため、各関係機関との連携を密にして状況に応じた、より安全な通学路の設定を進める。

3 開かれた学校づくり推進のため、本校の教育について積極的に地域に発信することができたか。

地域の声を聞く取組ができたか。(学校便り、地域公開参観日、学校説明会 他)

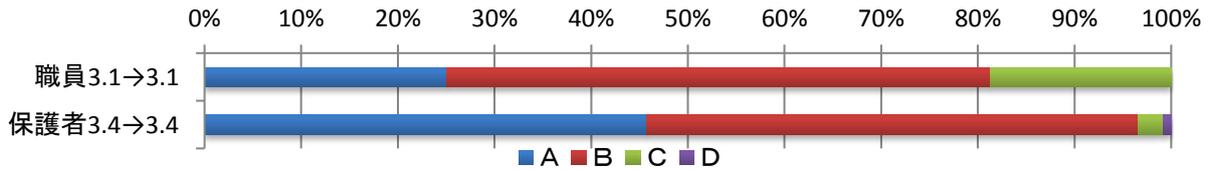


<来年度に向けて>

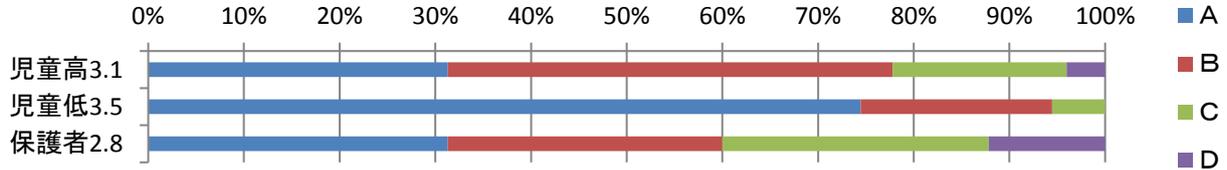
職員、保護者ともに評価が高く、学校と保護者・地域の方々とのつながりを強く感じる。今後も、気軽に学校に来ていただけるような雰囲気作りや情報発信に努めたい。しかし、学級懇談への参加率が低いのが課題である。参観授業後も残ってもらえるように懇談内容を工夫していきたい。

方針2 家庭で心身の基盤づくりを(家庭力の向上)

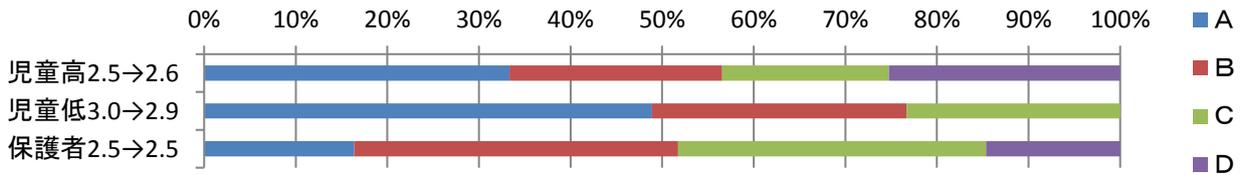
4 家庭の教育力の向上を目指し、生活リズムや食育の啓発、家庭学習の奨励を全校的な取組として行うことができたか。(学習の手引き、家庭学習、生活リズム・食育、読書習慣の啓発)



※ 家庭学習の習慣が身に付いている。

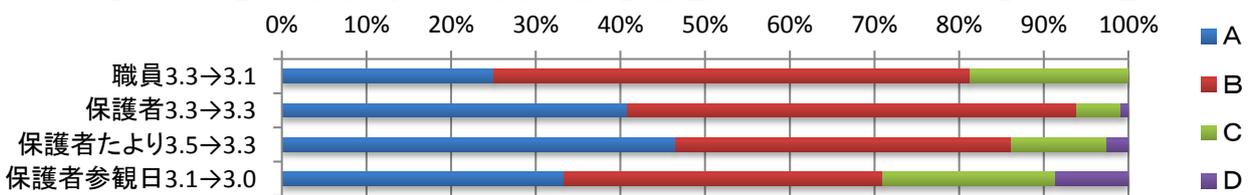


※ テレビやゲームの時間を決めて行っている。



<来年度に向けて>
 学校説明会や保護者への生活アンケート等の取組と日常の学級での支援が少しずつ実を結んできている。課題は多いが、家庭との連携を大切にしながら取組を継続している。

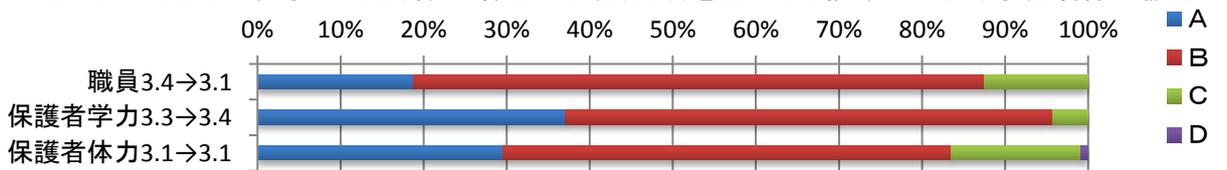
5 本校の教育活動に対する保護者の理解と協力を得るための工夫や保護者の意見収集のため工夫することができたか。(参観日や懇談会の設定、各種通信、ホームページ、安心メール 他)



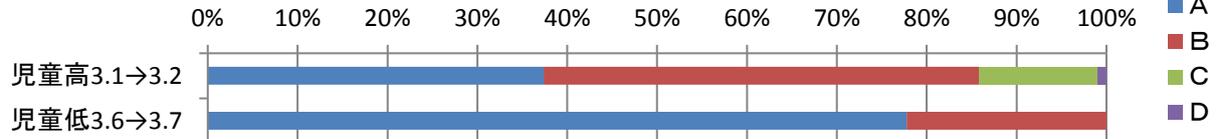
<来年度に向けて>
 保護者アンケートでは、たよりをよく読んでいるの項目の評価が下がっている。学級通信・学校だより等で子どもたちの活動が見えるように紙面の工夫をする。また、安心メールの利用率を高めるためにも、日常的な連絡方法のひとつとして活用方法を工夫していきたい。

方針3 学びの環境(人・物)の創造を(学校力の向上)

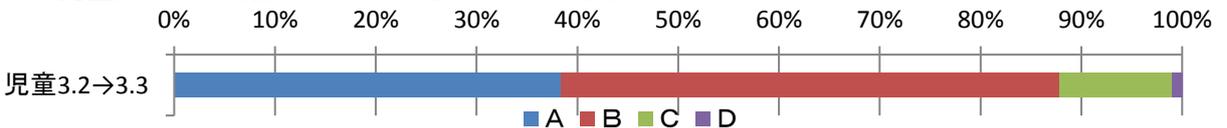
6 本校児童の実態把握のため、学力調査や体力調査を実施し、結果の考察と改善の方策を明確にすることができたか。(学力向上、体力増進の取組、分析を基にした授業の工夫、学習規律の徹底)



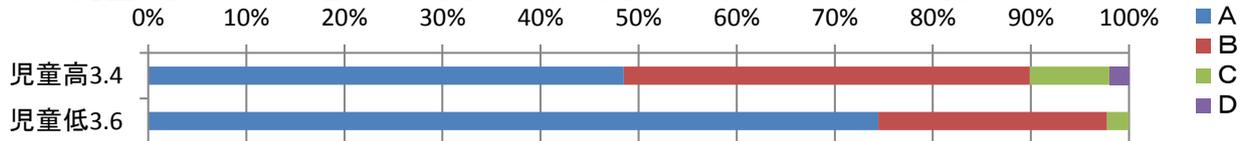
※ (児童)学校に来ることが、楽しい。



※ (児童)学校の勉強は、楽しく、先生方の教え方はわかりやすい。

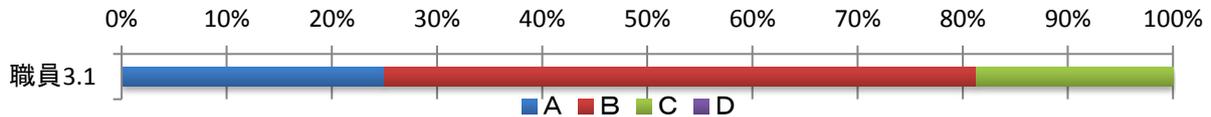


※ (児童)先生方は、学習でわからないことがあるとていねいに教えてくれる。



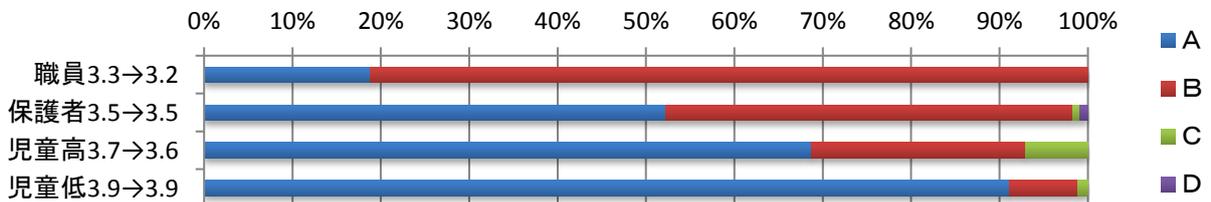
<来年度に向けて>
 各種学力検査や体力テスト等の結果を分析し、日常の授業や朝学習・放課後学習等で学習の改善に努めてきた。今後も、全校の課題について共通理解をはかり、全校で統一した考えをもちながら指導していく。特に、学習規律の徹底や朝学習の内容について改善をすすめる。

7 校内研修や校外の研究会参加を行い授業力の向上を図ることができたか。
 (校内研修、研究会参加、少人数指導や外部人材の活用、個別の指導計画・支援計画)



<来年度に向けて>
 全員が研究授業を行ったことは、個々の力量向上に成果があった。また、苫小牧市の授業改善推進教師(LIT)のモデル授業を参観しての研修も効果的であった。今後も、様々な研修の機会を有効活用して授業力の向上を図りたい。

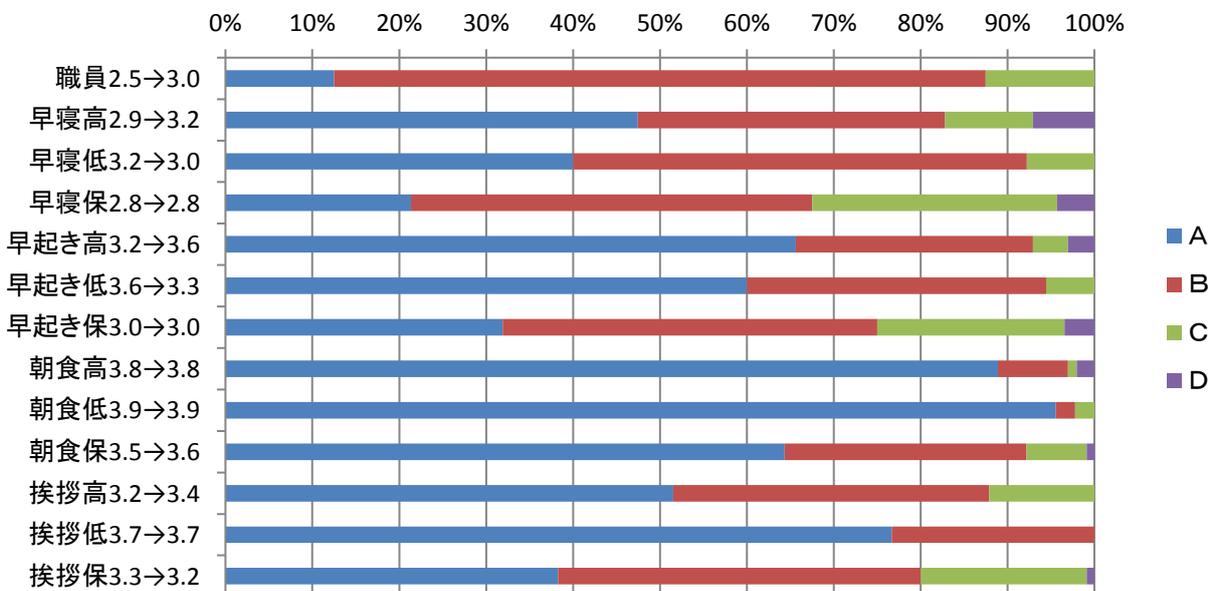
8 通常と特別支援学級の交流や他校種との連携が積極的に行われ理解を深めることができたか。
 (校内支援委員会、特別支援学級交流、他校種の行事への参加・交流・引継・情報交流)



<来年度に向けて>
 特別支援学級と通常学級の交流に対する保護者の評価は高い。近年、幼・保・小や小・中の連携について強化しているが、2つの中学校区に分かれているため、両中学校区の他の小学校とも連携を進めていきたい。

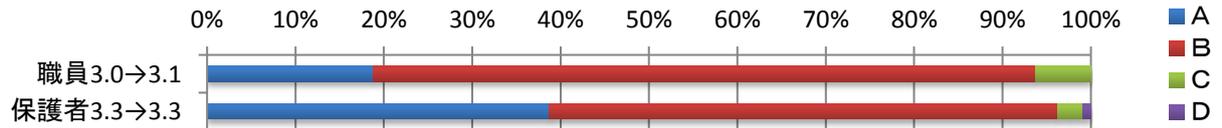
II 学校の教育活動にかかわって

9 日常実践の合言葉「早寝 早起き 朝ごはん さわやか挨拶」が実践されているか。

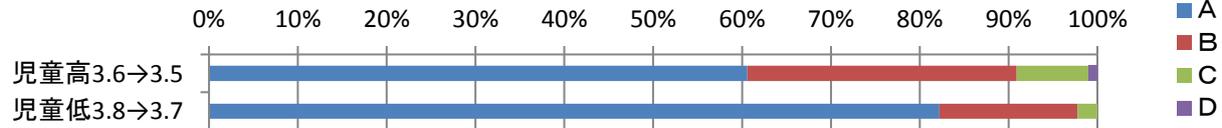


<来年度に向けて>
 学校からの情報発信や指導、家庭での声かけや実践のおかげで、全体的に評価が高い。今後も、家庭との連携を密にして子どもたちの健全な育成のために取組を継続していく。

10 児童会活動、学級会活動を通し、集団生活のルールや自主性を育むことができたか。
(児童会活動、学級会活動、縦割り活動 他)



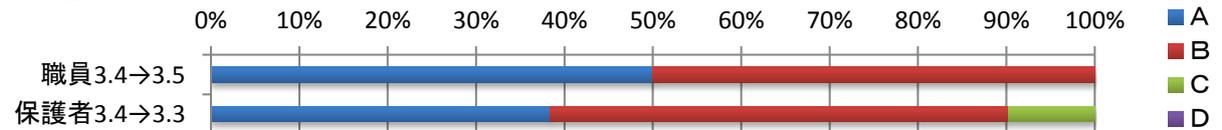
※ (児童)先生方は、あいさつやルールを守ることの大切さを教えてくれる。



<来年度に向けて>
限られた時間の中ではあるが、全校給食交流や全校遊びなど小規模校ならではの活動ができている。来年度も、子どもたちのアイデアを大切に自主性を育む活動場面を確保していく。また、様々な活動場面でルールを守ることの大切さについても指導していく。

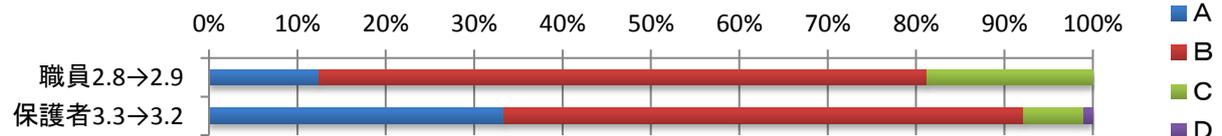
11 命を大切にする健康・安全指導は充実していたか。□

(避難訓練、防災教育、防犯教室、自転車教室、学級指導、薬物防止教室、食育・給食指導、道徳の時間、学級指導 他)

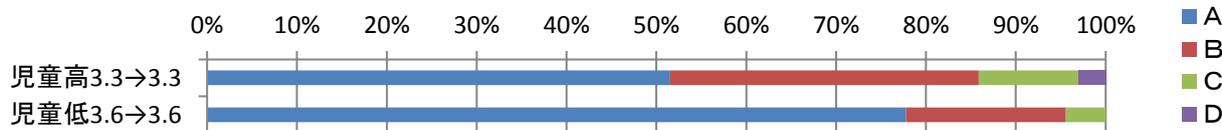


<来年度に向けて>
各関係機関と連携して適切な指導場面を設定することができた。毎年同じような場面での指導になることが多いが、繰り返し行うことで意識を高めていきたいと考えている。災害時の訓練については、色々な場面を想定して計画する。

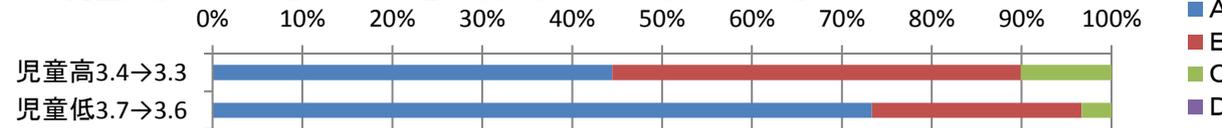
12 教育活動全般を通して心の教育が展開され、子どもに道徳的実践力が身に付いてきているか。
(外部人材の活用、道徳の時間、道徳指導、学級指導 他)



※ (児童)先生方は、困った時に相談にのってくれる。



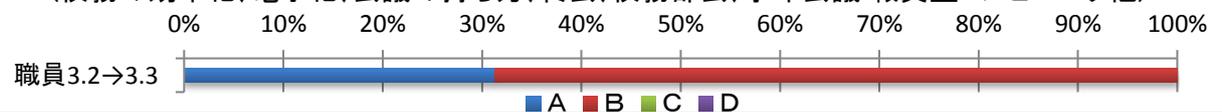
※ (児童)先生方は、思いやりの心や優しさについて話してくれる。



<来年度に向けて>
心の教育については、道徳の授業だけでなく日常的な活動の中でも行っている。今後も、「人権教室」や「いのちの授業」等の外部人材を活用した指導場面も設定し、地域とともに子どもたちの心を育んでいく。

13 一人一人が学校運営に積極的に参画できたか。会議や打ち合わせのスリム化が図られたか。□

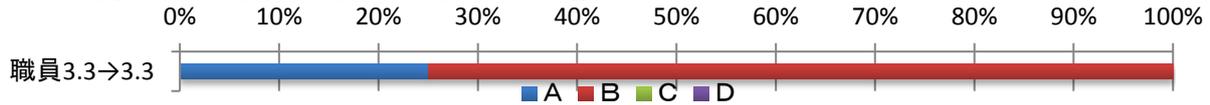
(校務の効率化、電子化、会議の持ち方、終会、校務部会、学年会議 職員室コンピュータ他)



<来年度に向けて>
昨年度に引き続き、評価が高かった。何事にも学校全体で取り組む協力体制が組織されていて円滑に進めることができている。来年度は、1年生が2学級となる予定なので、学級間の連携が円滑に進められるように会議の持ち方を工夫していく。

14 研究主題の具現化に向け、組織的・実践的な研修活動が行われたか。

(研究主題、研修計画、授業研、授業公開 他)

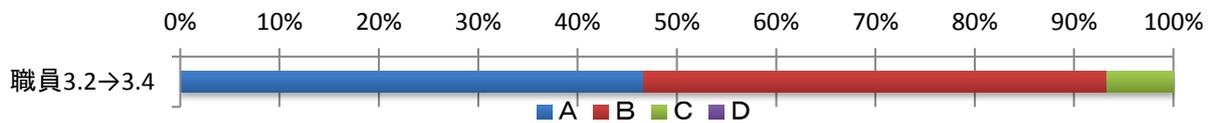


<来年度に向けて>

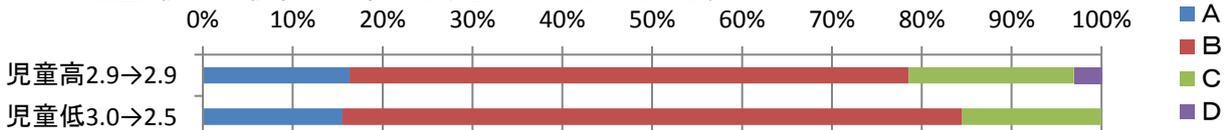
本校の学力面での課題である算数科に焦点を絞り研修を進めていく。今年度同様、全員が研究授業を行い交流を深めながら個々の授業力向上を目指す。

15 施設設備の管理整備及び安全点検を適切に行うことができたか。

(施設管理、備品管理、清掃、美化活動、安全点検日、通学路点検 他)



※ (児童)校内や校舎のまわりは、きれいになっている。



<来年度に向けて>

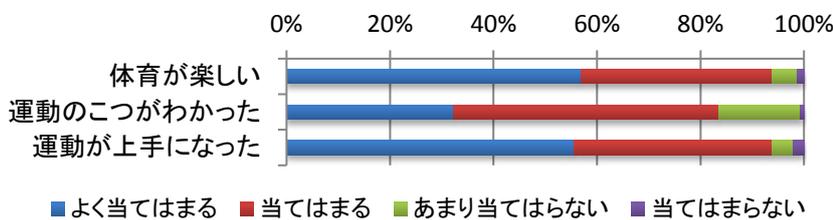
体育館の新築工事、駐車場の整備等さまざまな工事が続いてきた。来年度も、南側校舎の耐震化工事が予定されている。児童の安全を第1に考え、日常的な点検作業を怠らないように進めていく。

体育の授業についてのアンケート結果

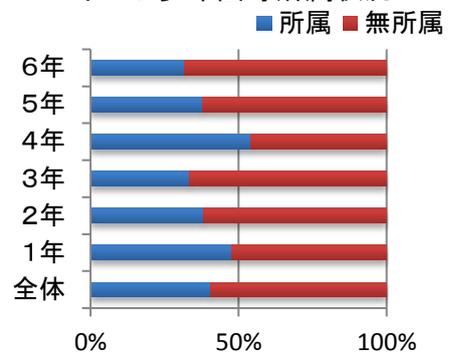
<成果と課題>

- 体育の授業アンケートの結果から、90%以上の児童が「体育の授業を楽しく感じる」と回答した。また、「運動ができるようになったと感じた」と回答した児童が、前回より5ポイント増加した。
- 学級担任と体育専科教員が授業の進め方について日常的に話し合い授業改善を図ることができた。
- 体育授業の改善や計画的な体力づくりを進めたことにより、児童の体力及び運動能力が少しずつ向上してきた。

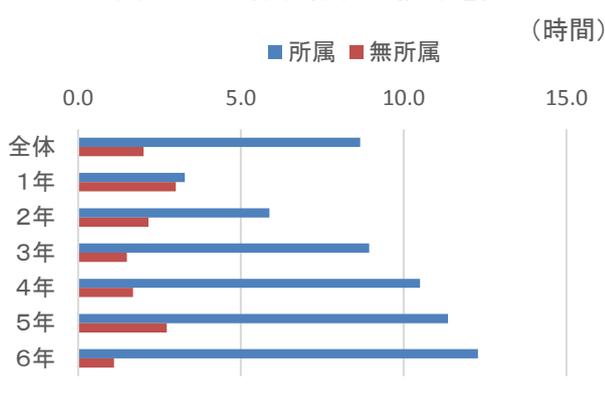
- 今後、冬季間における効果的な体力づくりや、運動機会の少ない児童等の体力向上の取組について、具体的な方策を検討する必要がある。



スポーツ少年団等所属状況



1週間の運動時間(体育の授業を除く)



1週間の運動時間(体育の授業を除く) 全学年

